

2026年度第1学期山梨学習センターゼミ

講師名	開催 予定日	テーマ	ゼミ概要
詳細		ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
村松 俊夫 (センター所長)	① 4月8日	「ORIGAMI」の数理と造形	日本が誇る伝統文化「折り紙」は、「ORIGAMI」としてその国際的地位を、確立しています。単なる“遊び”ではなく、幾何学的な視点から空間構造体として捉え、その設計思想と技術・技能を実際に追体験しながら学びます。
	② 5月13日 (第3)		
	③ 6月10日		
	④ 7月8日		
	⑤ 8月5日		
	⑥ 9月9日		
【曜日】 第2水曜日 【定員】 5名 【時間】 13:30-15:00 【会場】 会議室		初心者向けの基礎的な平坦折りから、工学的に応用可能なフジモトパターンやミウラ折り、テセレーション、さらには難易度の高い立体作品まで。折り図を参照しながら段階を追って一緒に制作していきます。指先を動かしながら、一枚の紙が持つ「空間構成の可能性」を体感していきましょう。	特段の予備知識は必要ありません。ただし細かい折り作業が伴います。参考資料ならびに折り紙の用紙(大判サイズを含む)等は講師が用意します。一部補修用の材料(セロテープ等)も学習センターに用意してあるものを使用します。
大隅 清陽 (山梨大学教授)	① 4月17日	『古事記』を読む	現存する日本最古の書物である『古事記』をテキストとして、日本の文化と社会について考えます。今から1300年前に成立したこの古典を読むためには、歴史や文学だけでなく、人類学、宗教学、民俗学、神話学、言語学など、さまざまな学問の成果が必要です。古典を読む楽しみを体験することに加え、学問の広がりや深さに触れてもらいたいと思います。
	② 5月15日		
	③ 6月19日		
	④ 7月17日		
	⑤ 8月21日 (第4)		
	⑥ 9月18日		
【曜日】 第3金曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40~12:10 【会場】 実習室(※単位認定期間中は「会議室」)		今学期は『古事記』上巻の神話の部分を読みます。初回にガイダンスを行った後は、参加者で毎回の分担を決めてテキストを輪読し、その内容について質疑応答をしながらゼミを進めます。全員が前もってテキストを読んでくるのが前提です。	角川書店編『ビギナーズ・クラシックス日本の古典 古事記』(角川ソフィア文庫、税別720円)をテキストとしますので、各自で購入してください。原文だけでなく、わかりやすい現代語訳も載っていますので、古文の知識はほとんど必要ありません。ただし、次回に読む箇所(毎回15~20ページ程度を予定)を事前に読んできてください。
大山 拓次 (山梨大学教授)	① 4月22日	タンパク質構造入門	固有の機能を発揮することで、私達はようやく健康に生きることが出来ます。タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づく機能の仕組みを知れば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わるかもしれません。
	② 5月20日		
	③ 6月24日		
	④ 7月22日		
	⑤ 8月19日		
	⑥ 9月30日 (第5)		
【曜日】 第4水曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 実習室(※単位認定期間中は「会議室」)		地上の生物に命を吹き込んでいる様々なタンパク質分子について学んでいただきます。前半は、講師がこれまでに出会ったユニークな構造を持つタンパク質を紹介します。後半では、受講者の皆様それぞれが興味を持つタンパク質について、構造と機能の相関を議論したいと思います。	生化学の予備知識があれば、より深く理解していただけますが、事前知識が少なくても、授業を通して理解していただけるような内容をご提供できればと考えています。
岡松 恵 (山梨大学准教授)	① 4月8日	文様に惹かれて	身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょう。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょうか。また昔の日本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。
	② 5月13日 (第3)		
	③ 6月10日		
	④ 7月8日		
	⑤ 8月5日		
	⑥ 9月9日		
【曜日】 第2水曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 岡松研究室		受講生の皆様に、ご自身の惹かれた”日本の文様”を一つ紹介していただくことから、ゼミがスタートします。その文様について、皆で自由にディスカッションし、そこで得たヒントを糧にしながらご自身のペースで調査や思索を進めてゆきます。最終回ではそれらをまとめて披露しましょう。	特段の予備知識は必要ありません。調査では、例えば看板や包装紙など、ご自身が身の回りで目にしたものや、書籍などからその文様を探していただきます。教員の文様全集や着物の図録なども、ぜひご覧になってください。
菊地 淑人 (山梨大学准教授)	① 4月16日	地域資源と観光／まちづくり	私たちの身近にはさまざまな地域資源(文化(文化財)、自然、景観など)があります。その価値や魅力は何なのでしょう。また、それらは観光やまちづくりにどのように役立つのでしょうか。事例を通して、日々の暮らしのなかの地域資源の役割を考えていきましょう。
	② 5月21日 (第4)		
	③ 6月18日		
	④ 7月9日 (第2)		
	⑤ 8月27日 (第5)		
	⑥ 9月17日		
【曜日】 第3木曜日 【定員】 5名 【時間】 10:00~11:30 【会場】 会議室		参加者の皆さんに、毎回、身近な地域資源について興味をもったトピックなどを話題提供してもらい(適宜、教員も話題を提供します)、それを踏まえて地域資源の価値、魅力とそれを活かした観光地づくり・地域づくりなどについてディスカッションを行います。	事前の予備知識は不要です。小さな話題(気になったトピック、ニュース、調べたことなど)でもいいので、関心を共有いただければと思います。ディスカッションを通じて、地域の価値(魅力)やそれを活かしたまちづくりなどを見つめ直すきっかけになることを願っています。
田中健史朗 (山梨大学准教授)	① 4月15日	人の「こころ」(心理)について考える	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。
	② 5月13日		
	③ 6月17日		
	④ 7月15日		
	⑤ 8月19日 (第4)		
	⑥ 9月16日		
【曜日】 第3水曜日 【定員】 6名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 会議室		各回で取り上げるテーマを決め、そのテーマについて各自事前学習を行っていただきます。ゼミでは各自の事前学習をもとに討議を行います。	取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について第1回ゼミで説明します。
鳥山 孝司 (山梨大学准教授)	① 4月23日 (第4)	走るを科学する	速く、長く走れる走り方は？怪我をしない走り方は？運動力学、生理学などの観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに触れてみませんか？
	② 5月14日		
	③ 6月18日		
	④ 7月16日		
	⑤ 8月20日 (第4)		
	⑥ 9月17日		
【曜日】 第3木曜日 【定員】 6名 【時間】 13:30-15:00 【会場】 実習室(※単位認定期間中は「会議室」)		前半は、走るとは何か？その正しい動きは？走りの練習方法はといったものを紹介し、その基本的な動き作りに取り組んでいきます。実際に走るまでの運動はしません。後半は、受講者が実際に取り組むための練習のプランニングについて考えていきます。	これから運動を始めたいという方から、大会で結果を出したいという方までの広い範囲を扱いたいと思います。歩き方などの身体の使い方を確認する運動もしたいので、動きやすい格好での参加が望ましいです。

※ 1. 第一週とは、その月の1日から土曜までの間

2. 客員教員等の役職については、2026年2月1日現在で記載